

主な内容

- 2……市民意識調査の結果、名張市体育協会いきいき教室
- 3……中川原市営住宅入居者を募集、国津の杜の行事
- 4……移動図書館「やまなみ号」巡回日程(4月~12月)

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp



脱サラし、ネギ一筋!

農ボーイ



すみだ たかのり
住田 貴範さん(東田原)

■結婚を機に、農業の道へ

結婚を機に、妻の実家のある名張で暮らすことになりました。妻の実家が農業をしており、私は、サラリーマンをやめ、農業の道を歩み始めました。しかし、これまで全く農業をした経験がなく、最初は、実家の手伝いから始めました。また、松阪市にある三重県農業大学校に1年通い、農業についての知識や技術も勉強しました。

全国的に農業は、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題を抱えており、名張も例外ではありません。今号は、そんな名張の農業を盛り上げていきたいと頑張っている、若手就農者の住田貴範さんに話を伺いました。

☎ 農林資源室 63・7625
農業委員会 63・7665

「農業」で生きる

今は、36棟のビニールハウスで、主にネギを作っています。朝4時ごろから、ビニールハウスに出かけ、手作業でネギを根から抜き取り、水洗いした後、袋詰めして市内のスーパーなどに出荷しています。

■おいしいネギを皆さんの食卓へ!

野菜づくりで難しいのが、環境の変化です。温度変化や、日差しの強さにより、葉や根が傷むことがあります。また、土の管理も非常に気を遣います。同じ野菜ばかり育てていると、土から同じ栄養ばかりが取られてしまい、土の肥力が減ります。他にも、害虫や病気も発生します。そのため、ネギ以外の野菜を栽培したり、土を休めさせたりしながらビニールハウスを上手にローテーションして、土の管理をしています。

これからは、規模を増やししながら、計画的に生産、出荷し、皆さんにおいしいネギを提供できるように、頑張っていきたいです。

地域農業の将来設計図

「人・農地プラン」推進中!

“高齢で農地を耕作できなくなった”“農地の貸出し先が見つからない”などの「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域が増えています。

このような問題の解決に向けて、市では、各地域における「人・農地プラン」の作成を推進しています。昨年、市内では黒田地区、薦生地区で作成されました。

各地域で、農地を所有する皆さんが、次のことを話し合いで決め、プランを作成します。

- ▼今後の地域の中心となる経営体(個人、法人)はどうか
- ▼中心となる経営体へどうやって農地を集めるか
- ▼中心となる経営体とそれ以外の農業者(兼業農家、自給の農家)を含めた地域農業のあり方

作成したプランを実行し、問題解決していきます。作成した後も、定期的に話し合いをもち、「人・農地プラン」の見直しを行います。農地を守り、地域の連帯を強めることなどがメリットです。このプランを通じて、これからの各地域の将来像を考えてみてはいかがでしょうか。詳しくは、農林資源室へ(☎ 63・7625)



「伊賀米コシヒカリ」が米の食味ランキング3年連続「特A」!

平成25年産米の「食味ランキング」が日本穀物検定協会より発表され、「伊賀米コシヒカリ」が、最高評価の「特A」に3年連続で選ばれました。「特A」に選ばれたのは、全国で38銘柄。魚沼産コシヒカリなど各地の銘柄米と並んでいます。